



2022年9月14日

各位

会社名 株式会社ネオジャパン
代表者名 代表取締役社長 齋藤 晶議
(コード：3921、東証プライム)
問合せ先 取締役 経理財務担当 常盤 誠
(TEL. 045-640-5917)

連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2022年9月14日開催の取締役会において、最近の業績の動向等を踏まえ、2022年3月17日に公表した2023年1月期の連結業績予想について、以下のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

1. 2023年1月期の連結業績予想数値の修正（2022年2月1日～2023年1月31日）

(1) 修正の内容

(単位：百万円)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり連結当期純利益
前回発表予想 (A)	6,271	1,271	1,359	920	61.77円
今回修正予想 (B)	5,989	1,094	1,182	782	52.48円
増減額 (B - A)	△282	△177	△176	△138	
増減率 (%)	△4.5	△13.9	△13.0	△15.0	
(参考) 前期連結実績 (2022年1月期)	5,920	1,247	1,361	866	58.17円

(2) 修正理由

連結売上高につきましては、システム開発サービス事業の売上高が、主要顧客の体制縮小や退職等の影響による売上減少の影響が下期も継続する見込みであることにより約230百万円当初予想を下回る見込みであります。また、ソフトウェア事業の売上高については、プロダクト等の売上高が当初予想を上回る見込みである一方で、クラウドサービスが当初予想を下回る見込みであることにより、ソフトウェア事業の売上高が約42百万円下回る見通しであります。

連結営業利益につきましては、ソフトウェア事業において、上記のとおり売上高が当初予想を下回ることに加え、下期に認知度向上のための広告宣伝費を約64百万円追加で支出する計画であることを主要因として当初予想を約82百万円減少する見込みであります。加えて、システム開発サービス事業において、売上高の減少を主要因として、営業利益が約64百万円減少する見込みであります。また、海外事業においては、米国子会社において新サービス開発にかかる投資が増加したことおよび、ASEAN子会社での人件費増加に伴い当初予想を約32百万円下回る見込みであります。

以上の結果、連結売上高及び各段階利益が前回予想を下回る見込みとなりましたので、2023年1月期の連結業績予想数値を上記のとおり修正いたします。

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績等は今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

以上